

例会・事業のご案内

詳細はホームページをご覧ください

1 月度例会 (対内例会)

【1月12日(月) 名鉄トヨタホテル】

「新年賀詞交歓会」

2015年度最初の例会となります。私たちの活動にご協力をいただいている関係諸団体の皆様や、特別会員の先輩方をお招きし、(一社)豊田青年会議所の2015年度の活動方針を発表いたします。新年の賀詞交歓にふさわしいよう、華々しく開催いたします。

2 月度例会 (対内例会)

【2月18日(水) 豊田産業文化センター】

「魅力あふれる人材が地域の未来を創造する～地域のリーダーとなるために～」

(公社)日本青年会議所2014年度の会頭を務められた鈴木和也直前会頭(岡崎JC)をお招きし、青年会議所活動を通して、地域のリーダーになるためにはどうしたらいいのかを講演いただきます。地域はもちろん世界の青年会議所を知る鈴木和也直前会頭だからこそ知り得る切り口で例会を構成していきます。

3 月度例会 (対内例会)

55周年を迎える今、我々が新たな一歩を踏み出すために時代に即した「旗印」を掲げます。今まで様々な運動を発信してきた(一社)豊田青年会議所だからこそできるアプローチを活かし、市民へ継続的に運動を提供していける仕組みを構築します。

4 月度例会 (公開例会)

我々の誇りでもある「和」の精神を未来へとつないでいくことの必要性を理解していただき、市民の心に自国への誇りがあふれる豊田市を創造します。

会員拡大実施中！皆様のご支援をお願いいたします。

本年度もメンバー全員で会員拡大に取り組んで参ります。

お知り合いの20～37歳未満の方で青年会議所に興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。



「会員」の和創造室長：梅村恒次

皆様のご支援に感謝

昨年度、会員開発委員会委員長を務めさせていただきました折には、皆様方からのお力添えのおかげをもちまして、多くの新入会員を私たちの仲間として迎えることができました。入会することで様々な気づきや学びを得ることができる団体であると確信しておりますので、本年度も引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願いたします。



会員開発委員会委員長：木村正秀

拡大目標40名!!

2015年度会員開発委員会は、目標入会者数を40名と掲げ、積極的に若い人材を発掘し、1人でも多くの入会をめざし会員拡大に取り組んで参ります。青年会議所でなければ出会うことができない仲間、経験することができないことがたくさんあります。ぜひ一緒に活動していきましょう！

ホームページ Facebook ご覧ください

一般社団法人豊田青年会議所の最新情報はホームページ、Facebookにて発信しております。誌面には収まりきらなかった情報もアップしていますので、ぜひご覧ください。



Facebookページ

<https://www.facebook.com/jcitoyota>

検索



「いいね！」おしてね！



編集後記

2015年度、(一社)豊田青年会議所に広報誌が復活いたします。過去に発刊されていた豊田青年会議所の広報誌『ブルージャケット』を知る者は現役メンバーにいませんでした。今となっては貴重となった『ブルージャケット』をお借りし、実際に手にとってみました。過去を知ることで今の私たちに足りないもの、過去から今の私たちに受け継がれているものに気づくことができました。誌名の『LINK』には、「現役メンバーと特別会員」をつなぐ、また「地域と豊田青年会議所」をつなぐ、という想いが込められています。結びとなりますが、『LINK』を通して(一社)豊田青年会議所の魅力を発信することができるよう、委員会メンバー一同、より良い広報誌とするために尽力してまいります。是非ご一読いただきまして多くのご意見を承りたいと存じます。末永く広報誌『LINK』をよろしくお願申し上げます。(広報渉外委員会委員長 鈴木健太郎)

地域と(一社)豊田青年会議所をつなぐ広報誌



LINK

目指そう

創刊号



2015年度メンバー紹介 太田市長×柴田理事長対談 真のリーダーによる「和」の精神あふれる地域の創造

LINK 201501 VOL.1 過去と今、未来をつなぐ。想像以上の創造を [お問い合わせ] T:471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-25 TEL 0565-32-5777 FAX 0565-35-2021 MAIL info@toyotajc.jp



理事長挨拶 一般社団法人豊田青年会議所 2015年度 理事長 柴田久尚

平素は一般社団法人豊田青年会議所（豊田JC）に格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

一般社団法人豊田青年会議所は1961年5月31日、全国で204番目の青年会議所として誕生し、私たちのまち豊田を心から想い、創立時から変わることなく「まちづくり」を主眼に、様々な事業を通して「明るい豊かな社会の実現」を目指し活動して参りました。これまでの私たちの運動に対し、深いご理解と温かいご支援をいただきました全ての皆様に心より感謝申し上げます。

本年で54年目を迎える一般社団法人豊田青年会議所は、「過去と今」、「今と未来」をつなぎ、想像以上の創造を～のスローガンのもと、青年会議所の理念・目的、そして存在価値を今一度見つめなおし、日本人の心に宿る「和」の精神を再認識し、新たに取り組んでまいります。そして、「過去と今」をつなぎ、「今と未来」をつないでいく責務を自覚し、地域の、日本の、世界の未来像を一人ひとりが描き、「明るい豊かな社会」の実現に向けて、想像以上の創造をしていくことが、私たち青年会議所の使命とし運動を発信してまいります。

未だに先行きの見えない経済状況、隣国との国際関係など多くの問題が山積し、安心・安全な社会の未来を描くことができない状況が続く今、責任世代である我々青年は行動せずに時代に流されている時ではありません。世界から称賛される国民としての意識を強く持ち、「真のリーダー」として、市民の道標となり運動を推進していかねばなりません。地域に変革をもたらす続ける為に、メンバー一人ひとりが「真のリーダー」となり、過去からのつながりを未来へつなぎ、誇れる国・誇れる地域の創造へ「心」をつなぎ、活力ある地域の創造へ「人・企業・地域」をつなぎ、輝かしい未来の創造へ「次代」をつなぎ、日本人の心に宿る「和」の精神あふれる地域創造を展開してまいります。私たちの想い・行動が地域と市民の皆様に届き、豊田のまち、そして日本・世界が明るい豊かな社会へと進むことを強く願っております。

今後とも、一般社団法人豊田青年会議所の運動への深いご理解とご協力とともに、多大なご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2015年度スローガン

「過去と今」、「今と未来」をつなぎ、想像以上の創造を

柴田久尚（しばたひさなお）

生年月日：1975年5月16日（39歳）
 勤務先：株式会社日本クリーナー（専務取締役）
 家族構成：妻・子ども3人
 学歴：豊田市立猿投中学校・愛知県立豊田北高校・梅村学園中京大学

【＝JC歴＝】
 2007年…入会
 2008年…渉外委員会・幹事 <愛知ブロック：アカデミー委員会・委員>
 2009年…広報渉外委員会・副委員長 <東海地区：とうかい号広報記録委員会・委員>
 2010年…こどもの未来創造委員会・委員長
 2011年…50周年記念事業実行会議・議長
 2012年…専務理事
 2013年…副理事長 <日本JC：国際アカデミー・グローバルネットワーク>
 2014年…LOM政策協議会議長 <日本JC：サマーコンファレンス運営委員会・副委員長>
 2015年…理事長

柴田理事長って
 どんな人!?



2015年度理事会構成メンバー



【前列左から】岡田訓和（専務理事）、小野健（監事）、鈴木真一（監事）、本多重之（副理事長）、鶴峯悦史（副理事長）、柴田久尚（理事長）
 横山栄介（直前理事長）、松本章（副理事長）、近藤厚司（副理事長）、福田功二（監事）、梅村幸司（監事）
 【後列左から】板垣直人（スポーツ力創造委員会委員長）、木村正秀（会員開発委員会委員長）、澤田樹男（真の日本人創造委員会委員長）、
 吉田京樹（会員交流委員会委員長）、坂元貞仁（市民の誇り創造委員会委員長）、鈴木雅之（事務局局長）、佐々木勇人（「地域」の和創造室室長）、
 梅村恒次（「会員」の和創造室室長）、数井辰浩（豊田JCアカデミー創造会議議長）、黒土大介（出向者連絡協議会議長）、今野公介（LOM政策協議会議長）、
 中根義人（「次代」への和創造室室長）、伊藤陽介（運営室室長）、安藤淳（「心」の和創造室室長）、孕石雅司（暮らし満足都市創造委員会委員長）、
 鈴木健太郎（広報渉外委員会委員長）、永井知彦（地域活力創造委員会委員長）

2015年度出向者紹介

【公益社団法人 日本青年会議所】

- 地域再興会議
 議長：横山 栄介
 総括幹事：澤田 智行
 委員：福田 功二
 佐野 雅紀
 鈴木 秀樹
 小島 悠司
 池田 靖典
 佐藤 秀作
 中垣 隆
- 資質向上委員会
 副委員長：佐々木 勇人
 小 幹事：山田 洋介
 委 員：近藤 弘行
 小谷 大輔
- 財務運営会議
 委 員：高添 久幸

【公益社団法人 日本青年会議所 東海地区協議会】

- JC青年の船「とうかい号」国際交流委員会
 委 員：梅村 恒次、伊藤 覚
- JC青年の船「とうかい号」企画委員会
 委 員：柘植 和彦
- 【公益社団法人 日本青年会議所 東海地区 愛知ブロック協議会】
- 「つながり」のある愛知創造委員会
 委 員：篠田 貴正、近藤 正
- JC青年の船「とうかい号」特別委員会
 委 員：柘植 和彦、梅村 恒次、伊藤 覚
- ブロック大会運営委員会
 委 員：矢野 栄二郎

○ブロックアカデミー委員会

- 委 員：加藤治宣、山岸聖恒、鈴木英宏、
 近田知見、野々山健治、貴田敬之、
 鈴木貴雄、大嶋信哉、鈴木貴博、
 北尾大樹、今瀬器宇、横山要範、
 中根章介、植松大輔、永野啓介、松田勉

○LOM活性化支援委員会

- 委 員：岩崎 洋平

○主権意識醸成委員会

- 委 員：鈴木 宏延

○地域の「つながり」構築委員会

- 幹 事：佐藤 剛英 委 員：長澤 幸祐

2015年度 年間予定

1月	1月度例会（会員交流委員会） 京都会議	7月	7月度例会（暮らし満足都市創造委員会） 東海フォーラム サマーコンファレンス
2月	2月度例会（事務局） 名古屋会議	8月	8月度例会（真の日本人創造委員会） 8月度事業（豊田JCアカデミー創造会議）
3月	3月度例会（豊田JCアカデミー創造会議） 「体を強くする会」〔じゃがいもクラブ〕	9月	9月度例会（地域活力創造委員会） 愛知ブロック大会<刈谷> 全国大会<八戸>
4月	4月度例会（真の日本人創造委員会）	10月	10月度例会（市民の誇り創造委員会） 「体を強くする会」〔じゃがいもクラブ〕
5月	5月度例会（地域活力創造委員会） 日本JCじゃがいもクラブ中日本地区大会 ※真宝カントリークラブ	11月	11月度例会（暮らし満足都市創造委員会） 11月度事業（スポーツ力創造委員） JC I 世界会議<金沢>
6月	6月度例会（市民の誇り創造委員会） JC青年の船「とうかい号」<寄港地：台湾> ASPAC <マレーシア>	12月	12月度例会（広報渉外委員会） 12月度事業（会員交流委員会）

2015年度 委員会 紹介

豊田JCアカデミー創造会議

(一社)豊田青年会議所の活動精神を再認識し、未来へつないでいくために、これからの道標となる旗印を掲げます。そこから、自らが運動を推進していく「真のリーダー」が育成され、夢を実現する大きな力を発揮します。また、文化体験を軸とした互いの価値観を共有する事業を構築することで、ひととひとを結び、お互いの地域をつなぎ思いやりがあふれるまちへと変化させて参ります。



議長 数井 辰浩

- 議長：数井 辰浩
- 副議長：田中 盾行
- 総括幹事：梅村 洋平
- 幹事：廣部 主剛
- 幹事：鈴木 英宏
- 委員：野場 克哉
- 委員：三浦 直樹
- 委員：水野 秀樹
- 委員：長澤 幸祐
- 委員：加藤 昌恵
- 委員：今瀬 器宇
- 委員：松山 純成

真の日本人創造委員会

私たちの心には「和」の精神が宿っていることを再認識することで、日本人としての誇りを取り戻し、国を愛する気運を創り出します。そして、先人への感謝の気持ちを持ち、この国の未来の理想像を描き、実現するために行動できる「真の日本人」を創造することで、日本を牽引し、グローバル社会を切り拓くことができるよう活動して参ります。



委員長 澤田 樹男

- 委員長：澤田 樹男
- 副委員長：池田 靖典
- 幹事：塩谷 友嗣
- 幹事：加藤 康一
- アドバイザー：黒土 大介
- 委員：西垣 雅康
- 委員：榮田 英俊
- 委員：窪谷 羊馬
- 委員：野々山 健治
- 委員：山田 洋介
- 委員：横山 要範
- 委員：西山 昇太

市民の誇り創造委員会

豊田市は世界有数の産業都市でありながら、数多くの素晴らしい歴史が存在します。私たちが自ら歴史を学ぶことは今の豊田市の価値を知ることにつながり、市民の誇りを創造します。そのことにより、同時に郷土愛を育み、さらに次代に引き継ぐことで輝かしい未来への誇りとなることができるよう活動して参ります。



委員長 坂元 貞仁

- 委員長：坂元 貞仁
- 副委員長：市川 晶一
- 幹事：松山 剛久
- アドバイザー：矢野栄二郎
- 委員：加藤まゆ実
- 委員：西方 隆
- 委員：佐伯 祐一
- 委員：佐藤 剛英
- 委員：中根 章介
- 委員：沖 剛史
- 委員：松田 勉

地域活力創造委員会

地域の活力を生み出すためには、地域を構成する企業と市民に活力を与える必要があります。未来を見据えて自社の存続と継続的な成長に対し何が必要かを認識し、自らの企業発展を地域経済の活性につなげます。また、人、企業、地域をつなぐ仕組みを構築し人と人をつなぐ懸け橋となることで、地域で意欲的に行動できる市民の皆様とともに活力ある地域を創造して参ります。



委員長 永井 知彦

- 委員長：永井 知彦
- 副委員長：鈴木 善博
- 副委員長：水野健太郎
- 幹事：蟹 和徳
- 幹事：金国 建吾
- アドバイザー：今野 公介
- 委員：鶴田 博
- 委員：森下 琢磨
- 委員：近藤 正
- 委員：矢野 圭亮
- 委員：鈴木 貴博
- 委員：安山 拓

暮らし満足都市創造委員会

豊かな自然が残る農山村部と人口や産業が集積する都市部が共生する豊田市。合併から10周年という節目を迎えた今、これからも住み続けたい豊田市にするには何が必要であるかを市民の皆様とともに考え、暮らしに満足を感じる人が人から人、人から地域、地域から地域へ連鎖をつなげていくことで活力ある地域を育て暮らし満足都市になることを目標に活動して参ります。



委員長 孕石 雅司

- 委員長：孕石 雅司
- 副委員長：鈴木 正也
- 幹事：諸永 直樹
- 幹事：長尾 誠
- アドバイザー：岩井 昌浩
- 委員：尾形 成士
- 委員：竹本依里佳
- 委員：黒柳 良徳
- 委員：倉橋 良幸
- 委員：高添 久幸
- 委員：近藤 大芝
- 委員：鈴木 貴雄

スポーツ力創造委員会

スポーツのもつ力と豊田市のスポーツ環境を活かして、世代をつなぐスポーツ交流モデルを創ります。まちにスポーツがあふれて人々が触れ、スポーツによって人と人が結ばれていくことは、こどもたちが健やかに成長し、こどもに夢や希望を抱き、まちを織り成す人々の世代が繋がります。スポーツの力による人と人とのつながりが、豊田市の未来を描いていく活動を推進して参ります。



委員長 板垣 直人

- 委員長：板垣 直人
- 副委員長：竹谷 康祐
- 幹事：加藤 浩宣
- 幹事：山岸 聖恒
- アドバイザー：岩崎 洋平
- 委員：吉田 英樹
- 委員：松岡慎太郎
- 委員：松浦 敏郎
- 委員：小野 泰弘
- 委員：貴田 敬之
- 委員：中垣 隆
- 委員：三嶋 辰也

会員開発委員会

「会員の拡大は青年会議所運動そのものである」この言葉の通り、会員拡大は私たちの発信する運動に直接つながります。(一社)豊田青年会議所が、今後の運動を地域に広く発信するには、より多くの同志と質の高い活動が必要です。入会していただいた後は、自分自身を磨き成長させ、地域のために率先して行動することができるリーダーとなるよう導いて参ります。



委員長 木村 正秀

- 委員長：木村 正秀
- 副委員長：井戸田達也
- 副委員長：鈴木 悠介
- 幹事：伊藤 覚
- 幹事：八木 伸介
- アドバイザー：近藤 弘人
- 委員：安本 拓志
- 委員：神谷 直志
- 委員：小谷 大輔
- 委員：大嶋 信哉
- 委員：瀬内 孝幸

会員交流委員会

(一社)豊田青年会議所がより魅力ある組織となるためには、大きなつながりと強い絆が必要不可欠です。私たちは、会員一人ひとりに交流の必要性を示し、委員会の垣根を越えた会員相互の交流を図り、会員同士の友情を育みます。さらに会員だけではなく家族を含めた交流を行い、精力的に青年会議所活動へ取り組める環境を作って参ります。



委員長 吉田 京樹

- 委員長：吉田 京樹
- 副委員長：近藤 陽介
- 幹事：田端 英敏
- アドバイザー：澤田 智行
- 委員：酒井 泰明
- 委員：藪下 知秀
- 委員：櫻井 基泰
- 委員：青山 望博
- 委員：鈴木 雅博
- 委員：北尾 大樹
- 委員：佐々木 健

広報渉外委員会

(一社)豊田青年会議所の事業の魅力を正しく伝えることで、より多くの市民の皆様から認知していただき、地域から信頼される団体となるよう、私たちの運動の理念や目的を発信する広報活動を行います。渉外業務としては歴史と伝統を受け継ぎ、メンバー一人ひとりの活動および組織が円滑に機能するよう、サポートして参ります。

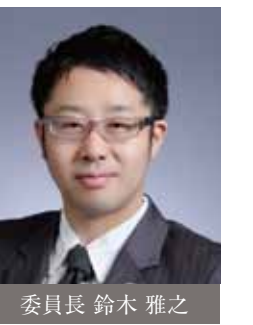


委員長 鈴木健太郎

- 委員長：鈴木健太郎
- 副委員長：川合 喜大
- 副委員長：佐藤 秀作
- 幹事：市川 直美
- 幹事：小野木尊正
- アドバイザー：篠田 貴正
- 委員：柘植 和彦
- 委員：小寺 基生
- 委員：鈴木 秀樹
- 委員：栗長 龍一
- 委員：岡田 恵理
- 委員：葛本 雄大

事務局

地域に対して強い発信力をもつ事業を推進していくためには、これまでの歴史と伝統に基づいた運営基盤を受け継ぎ、運営ルールを遵守するという意識をもち、次代へ向けて組織を強化していくことが重要です。各事業がルールにのっとり目的達成できるよう、運営面から牽引役となり真心を込めた対応でサポートして参ります。



委員長 鈴木 雅之

- 委員長：鈴木 雅之
- 局長：鈴木 雅之
- 局長：佐野 雅紀
- 幹事：近田 知晃
- 幹事：天野 洋平
- アドバイザー：辻村 洋行
- 委員：宇野 貴仁
- 委員：竹内 正樹
- 委員：鈴木 宏延
- 委員：小島 悠司
- 委員：植松 大輔
- 委員：永野 啓介

室長：中根義人

「次代」への和創造室

「会員」の和創造室室長：梅村恒次

運営室室長：伊藤陽介

「心」の和創造室室長：安藤淳



「地域」の和創造室室長：佐々木勇人



真のリーダーによる 「和」の精神あふれる地域の創造

(一社)豊田青年会議所は2015年度「誇れる国・地域へ～「心」をつなぐ～」、「活力ある地域へ～「人・企業・地域」をつなぐ～」、「輝かしい未来へ～「次代」へつなぐ～」という3つの大きなテーマをもって活動を進めています。

今回は、行政の取り組みと関わりの深い(一社)豊田青年会議所2015年度の3委員会の活動について、私たちの顧問である豊田市長太田稔彦氏に柴田理事長が伺いました。

“誇れる国・地域へ～「心」をつなぐ～”

柴田 これまで、(一社)豊田青年会議所では市民の皆様に対して日本人の心を醸成する運動を展開して参りました。イギリスの歴史学者であるアーノルド・J・トインビー氏も、「12・13歳までに民族の神話を学ばなかった民族は必ず滅びる!」という言葉を残し、自国の神話や歴史を学ぶ事の大切さを説いていました。

しかし、そのことを自分たちのまちに置き換えてみると、私たち若い世代の間が、どこまで豊田市の歴史を知っているのでしょうか。この豊田市が拳母町だった頃、時の町長であった中村寿一氏がトヨタ自動車を誘致したことが現在の豊田市の礎となり発展してきたのですが、若い世代にはほとんど知られていません。私たち若い世代は、中村氏をはじめとする多くの人々の情熱や想いまでを含めて、自分たちのまちの歴史を知る必要があると思います。そこで、2015年度より「市民の誇り創造委員会」を設け、新しい試みとして市民の誇りを醸成する運動を展開していきたいと考えています。

太田 確かに自分たちのまちの歴史を知ることは重要だと思います。以前、環境会議に参加してくれたイギリスのダービーシャー市から来た子どもたちが表敬訪問してくれたのですが、「豊田市は自動車産業の前はどんな産業で成り立っていたのか」という質問をされました。私は「養蚕で栄えていたよ」と答えましたが、さらに「養蚕の前はどんな産業があったのか」と質問されました。イギリスの子どもたちは、産業革命が歴史上の大きな転換期であり、それ以前の産業についてもとても興味を持っている事に驚きました。

柴田 外国の子どもたちでさえ、訪問した都市の歴史を学ぼうと興味を示しているのに、私たちのようにまちづくりに関わる団体のメンバーにとってはなおさら、まちの歴史について知らなくてはいけません。さらに私たちは、中村寿一氏をはじめ、このまちに対し熱い想いを持ち、決断され、情熱をもって取り組んでこられた、当時の先人の想いを理解しなければ、まちづくりを語るができないと思っています。

太田 当時の先人の想いを理解するには、当時の時代背景を理解する必要があります。あの時代は高度経済成長に入った頃で世の中に勢いがありました。戦後の沈滞から抜け出し極端な右肩上がりという時代の勢いも考慮し、客観的に分析する必要があります。

“活力ある地域へ～「人・企業・地域」をつなぐ～”

柴田 時代背景というと日本全国には近い将来存続していくことが困難となる自治体が複数存在しているといわれ、愛知県内でも危惧されている自治体があるようです。豊田市は合併して10年が経ちますが、今後はどのように推移していくと思われますでしょうか。

太田 日本全国の過疎化に悩む町村と豊田市では状況が違ってきます。例えば、東京や大阪であれば片道2時間程度かかって通勤圏内です。このことを考慮すれば、この豊田市では、稲武地区であっても中心部から片道1時間程度で通うことができます。将来的には、仕事は都市部に出向き、普段の生活は静かなところで暮らすという選択肢も出てくると思います。

柴田 私たちは「暮らし満足」というキーワードを切り口に「暮らし満足都市創造委員会」を設け、市町村合併から10年たった豊田市が、どのようにすれば本当に暮らしに満足を感じられる都市となることができるか、私たちなりに調査研究し発信していきます。昨年、小原地区において都市と農山村の交流をテーマに開催した例会において、小

原に住む若者たちが、どのようにすれば、地域に新たな魅力を生み出し過疎化を食い止め、自然を維持することができるのかについて積極的に意見を出している姿を見て、農山村を活性化させていくのはそこに住む若者たちなのだと思えました。

太田 先日、オールドマン芸能発表会という豊田市の27地区を代表する高齢者の方たちによる発表会に参加した折に、「自分の地域が一番いいと思っている人、手を挙げてください」と聞いたところ見事に全員の手が挙がりました。行政が実施する市民意識調査では、様々な意見をいただきますが、住めば都という言葉のとおり、ここに住み続けたいという気持ちが「暮らし満足」の根源になると思います。そして、その気持ちを子や孫などの次の世代へ語り伝えていくということが大切です。知識としての教育を超えたふるさと教育ともいえるべきでしょうか。自分たちの暮らしている地域に愛着をもつということ、そのことの積み重ねが国を想う気持ちにもつながっていくと思います。

柴田 次の世代に伝えていき、若い世代がその想いを共感することができなければ、どんどん地域離れが進んでしまうということですね。

太田 共感ということ言えば「食」から入るのが良いと思います。「買える農業」という言葉があるのですが、猿投で桃の花が咲き誇っている情景や四季折々に表情を変える南部の田園風景、そういった景観を含めて守り受け継いでいこうという価値観を共有することが、その土地の農産物を買って支えようという気持ちにつながります。その結果、景観を守ることができ次の世代へと受け継いでいくことができます。森林についても同じです。豊田市は県下1番の面積を誇り人口は名古屋市に次いで2番です。そんな広域な豊田市の景観を守るためには地産地消を進め、県外市外の方には景観のファンになっていただくということが大切です。

柴田 私自身は「猿投の出身であり、棒の手に関しても子どものころから慣れ親しみ、桃の花も身近にありました。「猿投」という言葉が自分にとっては誇りですし、聞くと嬉しくなります。豊田市民にとって「豊田」という言葉が誇りに感じてもらえるように、私たちは活動する必要があります。

“輝かしい未来へ～「次代」へつなぐ～”

柴田 2019年のラグビーワールドカップ招致の気運を高めることにも関わりますが、次代を担う子どもたちが、昨今のグローバル化が進む時代を、夢や希望を抱き、自らの道を切り拓いていく力を身に着けるために、「スポーツ力創造委員会」を設け、ラグビーを通して次世代育成を行っていきます。ラグビーは2012年度からの継続事業ですが、初めてプレーする子どもたちがすぐに好プレーを連発するという順応力の高さには、いつも驚かされます。そして子どもたちの真摯に取り組む姿が周りの大人たちにも勇気を与えてくれます。私たちとしてはこれから先もこの様な取り組みを継続し、子どもたちだけでなく周りの大人たちを巻き込み、まちの活性化につなげていきたいと考えています。

太田 豊田市としても(一社)豊田青年会議所の皆さんがラグビーに取り組みでいただいたことに感謝しています。ぜひ事業規模を拡大していただきたいと思います。

柴田 はい、私たちにはこれまで事業を行ってきたノウハウや実績がありますのでそれを活かし、行政の皆様と協力してさらに昇華させていきたいと考えています。

太田 2019年のラグビーワールドカップ招致に向けて、豊田スタジアムをラグビーの聖地としていきたいと考えています。ラグビーを今後、より大きな大会にすることは可能ですか。

柴田 市長のおっしゃる通り私たちとしても大会を年々大きくするために、市内の小学校でラグビーを授業に取り入れていただくなど普及啓発に取り組んでいます。こうした地道な活動がいつかは実を結び大会規模を大きくすることにつながると信じています。

太田 ラグビーW杯招致に向けては西三河エリアや東海環状道路が通る尾張エリアでも盛り上がっていただくことが大切だと思います。

柴田 私たちの取り組みに、トヨタ自動車のラグビーチーム「ヴェルブリッツ」の関係者や、愛知県と豊田市のラグビー協会の皆様から全面的にご協力をいただいております。いつかは豊田スタジアムのピッチでラグビー大会を開催できればと考えています。

太田 きっと実現できると思いますよ。豊田青年会議所の皆さんは卒業生された方も含めて、まちづくりに携わっていただく方ばかりが集まる団体だと思いますので、ぜひこういった意見交換をこれからもお願いします。

柴田 こちらこそ、これからもよろしくお願ひ申し上げます。本日はお忙しいところ、本当にありがとうございました。



2014年度10月度例会にて行われた「オバラ白熱教室」では、小原地区の若者たちが地域差が出にくく、初めてプレーする子どもたちの想いを積極的に意見を出していただきました。好プレーに周りの大人たちも沸き立ちました。



太田稔彦

太田稔彦 (おたとしひこ)

昭和29年4月30日生まれ 出身地愛知県豊田市 早稲田大学商学部 卒業
【経歴】
昭和52年4月1日 豊田市採用 平成14年4月1日 豊田市行政経営課長
平成21年4月1日 豊田市経営政策本部長
平成23年4月1日 豊田市総合企画部長
平成24年2月19日 豊田市長就任
平成26年6月4日 東海市長会会長、愛知県市長会会長就任



柴田久尚